一次救命処置と体外式自動除細動器

# BLS 救命救急の実際 AED

フレッシュナース
NEWS Vol.8
2026.09.24

新卒者および新任者が「救命救急の実際」を受講しました。研修者は事前に動画を視聴し、急変時初期対応の流れや心肺蘇生の手順・手技について学習した上で、演習に臨みました。











インストラクターによる指導のもと、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫の手技、ＡＥＤの操作を経験しました。バッグバルブマスクを隙間なく当てることの重要性や、適切な力加減や速さで胸骨圧迫を行うことの難しさを実感していました。



演習の後半では、発見から応援要請、心肺蘇生までの一連の流れを実践しました。胸骨圧迫が途絶えないよう、グループメンバーと声を掛け合い、連携しながら行っていました。







## 研修者の声

- 5～6cm沈む胸骨圧迫には想像以上の力が必要だとわかった。
- 応援要請や役割分担のための声掛けが不可欠で、チームで協力することの重要性を学んだ。
- 緊急時に冷静に行動できるよう、研修で学んだことを定期的に復習していく必要性を感じた。